

ごけん

平成 25 年

秋

号

日本語検定 実施予定

平成 25 年度第 2 回 (通算第 14 回)

[一般会場] 11月9日(土)

[準会場] 11月8日(金)・9日(土)

[申込期間] 8月19日(月)~10月11日(金)

後援：文部科学省／日本商工会議所
経団連事業サービス／全国連合小学校長会
全日本中学校長会／全国高等学校長協会
全国高等学校国語教育研究連合会
日本 PTA 全国協議会
全国高等学校 PTA 連合会
日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほんご」

もくじ

ごけんインタビュー	
銭谷眞美	2
ごけん情報板	4
会場レポート	5
採点室から	6
受検団体の声	8
にほんご にほんご劇場	10
受検案内／プレゼント・クイズ	12

特定非営利活動法人

日本語検定委員会

次世代に伝えたい、日本語の豊かさ

■方言と共通語

私は秋田県秋田市の土崎というところの出身で、テレビが家庭に入る頃に育ちましたから、方言、いわゆる秋田弁で育って、共通語は学校で勉強しました。共通語って、明治以降に作られた言葉なんですよ。日本じゅうのいろいろな人たちとコミュニケーションをとる、論理的に思考するために習得する、そのために試行錯誤のうえに作られた言葉なんです。だから共通語は勉強して身につけたものなんです。一方で感情を表すってことになるってやっぱり方言で、今でも「ああ、さみしい」なんて言うって嘘っぽくて、「ああ、とじえね」の方がしっくりきますね。

読んだり書いたり、考えたりするのは共通語、でも感じるの方言、こういうのが言葉の面白さかなと思います。どっちがいい、悪いではなくて、方言と共通語、どちらも大事にするのがこれからの日本社会に大事なことではないでしょうか。

■社会人に必要なのは日本語力

子どもが小さいときに、お父さんは役所でどういう仕事をしてるのって聞かれたんです。それで考えたら、朝から人に会って話を聞いたりそれに対して自分の考えを言ったり、上の人とか外の人に自分たちの考えていることを説明したり、あるいは要望を聞いたりするのが仕事の相当部分になってるんですね。あと役所ですから、文章を書いたり、人の文章を直したり。お父

さんは毎日人と会って話してるんだよって言うと、子どもには「楽だね」なんて言われちゃったんですけど(笑)。…でもそういう、人と会って話したり、説明したり、聞いたり、自分で文章を書いたり、あるいは誰かの意見を読んでそれに対してコメントしたりですね。結局仕事って日本語力が必要なんだなあと。もちろん体力というのは基本ですけど、それに加えて日本語の力がないといい仕事はできないんじゃないでしょうか。

具体的には、相手の話を聞く力、それから正確な日本語で伝える、話す力。あと発声法とか、そういうものもすごく大事ですよ。ほかに文書を読み取る力、これは学校でやった品詞分解、あれがすごく役に立ちます。一種の読解技術なんですよ、法律の解釈でも使いますから。それから書く力、これには語彙がいる。いろんな方面の日本語の力が必要なんだって、つくづく何十年も仕事してきて思いますね。

■失われた言語にしないために

15年くらい前、文部省の審議官のときにアメリカに1か月くらい出張に行って、現地の中学校で世界の言語という授業を参観した時のことです。世界にはアメリカで使っている英語以外にどういう言語があるか、どういう地域でどんな言語が使われているかというようなことから始まって、100年前、500年前はどうか、それから50年後100年後は世界の言語はどうなっているか、といったような授業だったので

すが、要するに世界の言語はどんどん少なくなっている、滅びる言語もあるという話なんですね。

その授業の中である生徒が、日本語は50年後100年後も残っていますかと聞くんです。もちろん残っています、国があるかぎり、日本人がいる限り日本語は残っていますと、そう答えたんですけども。だけど言葉を失った民族っていっぱいあるんですよ。

ですから、これからの子どもたちにはぜひ良い言語環境を用意してあげたいと考えています。博物館・美術館の世界でもね、10歳から12歳くらいまでの子どもの時に来ると、その子はまた来るっていうんです。その時の印象が強いと一生博物館・美術館のことが好きになるという。たぶん小学校の4、5年から中学1、2年くらいがものすごくある意味感受性が強いし、ものすごく記憶に残る時期なんですね。ですからその時期に言葉の世界に触れる機会をちゃんと与えてあげたい。秋田にわらび座という、日本の伝統芸能をもとにしたお芝居や民話劇をやる劇団があるのですが、そういう演劇に触れさせたり、学校図書館をもっと充実させて地域にも開放したりして、方言や良い文章、芸術に出会える機会を増やしていきたいですね。

■日本語はもっと学べる

最近はテレビや雑誌でも日本語のクイズコーナーが多くなり、意識が高まってきていると感じますが、ぜひいろいろな領域から日本語の豊かさに触れ、美しい日本語を



使ってほしいですね。たとえば敬語は日本人の心情を養ってきた言葉だと思います。目上の人をはじめ、相手の立場を考えて話すという言葉ですから。

ただ、目上の人と言っても最近の学生は付き合いの範囲が狭くて、両親とせいぜい学校の先生くらいですから、日常生活で敬語を身につけることは難しいかもしれません。そういう意味で日本語検定はぜひ大学生や社会人になっても受けてほしいですね。もちろん漢字とか、語彙とか、日本語検定は広い領域をカバーしていますから、しっかり勉強してもらって、いろんな方面の日本語力をつけてほしい。それはずっと自分の力、財産になりますから。

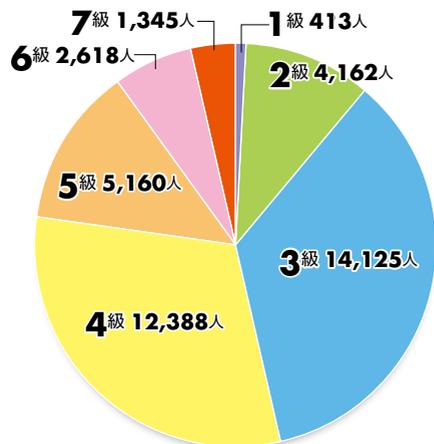
銭谷眞美 (ぜにや まさみ)	
生年月日	昭和24年6月2日
出身	秋田県
学歴	昭和43年3月 秋田県立秋田高等学校 卒業 昭和48年3月 東北大学教育学部 卒業
経歴	昭和48年4月 文部省入省 (大学学術局国際学術課) 平成9年7月 大臣官房総務課長 // 10年7月 大臣官房審議官 (初等中等教育局担当) // 12年3月 内閣審議官 (内閣官房内閣内政審議室教育改革国民会議担当室長) // 13年1月 文化庁次長 // 15年7月 文部科学省生涯学習政策局長 // 16年7月 初等中等教育局長 // 19年7月 文部科学事務次官 // 21年8月 東京国立博物館館長 (現在に至る) // 24年4月 日本語検定委員会審議委員 // 25年4月 日本語検定委員会理事 (現在に至る)

ごけん情報板

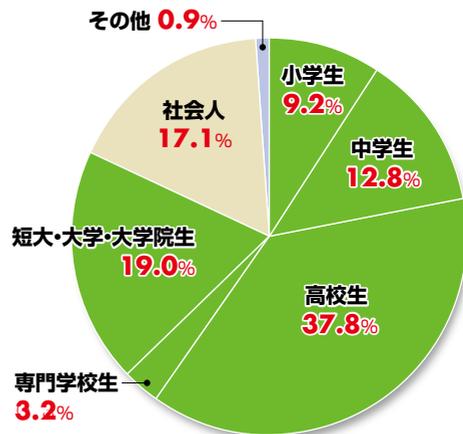
おかげさまで、日本語検定は今年、7年目を迎えました。
このコーナーでは、6月に実施いたしました、平成25年度第1回
(通算第13回)日本語検定について、各級の受検者数などのデータ
をご紹介します。

◎平成25年度第1回(通算第13回)

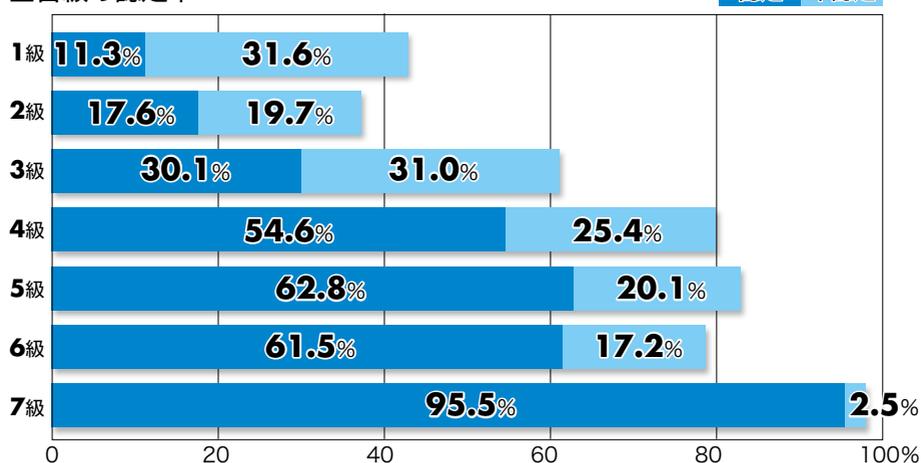
■受検者総数と級別受検者数



■受検者の学校・所属別割合



■各級の認定率



会場レポート

東京23区会場・大正大学



東京23区では、豊島区西巣鴨の大正大学を一般会場に検定が実施され、社会人を中心に約900人が1級から7級までを受検しました。今回新たに会場となった大正大学は、ここ数年改築改装が進み、清潔で明るい会場でした。受検は午前と午後の2部に分かれて実施され、また受検する級により複数の教室に分かれて行われました。最も大きい教室では一斉に300人が受検しました。

試験開始の1時間ぐらい前から女性を中心に続々と受検者が集まり始め、会場誘導係の励ましの言葉に多くの方が真剣な眼差しで聞き、なかには「勉強して寝ていません」という方もいらっしゃいました。ほとんどの受検者が試験直前までロビーや会場内で勉強を続けていらしたようです。今回は、白い半袖に紺のスラックスという制服姿で参加した皇宮警察の方々が、ほとんどが私服姿の受検者のなかで目を引いていました。

第5回「日本語大賞」作品募集!

下記のテーマについてのエッセイ、作文を募集いたします。

[小学生の部][中学生の部]テーマ「**伝えたい言葉**」

[高校生の部][一般の部]テーマ「**言葉だから表せること**」

●募集期間：平成25年8月1日(木)～9月30日(月)

●お問い合わせ：NPO法人日本語検定委員会 日本語大賞係

☎03-5390-7472

日本語検定HP <http://www.nihongokentei.jp>

メール contest@nihongokentei.jp

「この日本語、どこか変？」

25年度第1回の問題より

このコーナーでは、6月に実施した平成25年度第1回日本語検定の1～6級で、特に正答率が低かった問題をご紹介します。

■5・6級では、敬語の領域で、他よりも正答率がかなり低い問題がありました。

☆問【 】のようなときの言い方として、最も適切なものを選んで、番号で教えてください。

○6級より

【ねこをだいている近所の人に】

- 1 このねこの名前は、何とおっしゃるのですか。
- 2 このねこの名前は、何というのですか。
- 3 このねこの名前は、何なの。

(答え：2—正答率 59.5%)

○5級より

【病院の先生に、前日の夕食に何を食べたか聞かれて】

- 1 広島のお祖母に送ってもらったカキを、家族みんなで食べました。
- 2 広島のお祖母が送ってくださったカキを、家族みんなで食べました。
- 3 広島のお祖母に送っていただいたカキを、家族みんなでお食べしました。

(答え：1—正答率 45.3%)

★以上の二つは、どちらも敬語を使う必要のない場合についての問題です。6級では「ねこの名前」、5級では身内である「祖母」に対して、敬語を使う必要がないということを理解していないと思われる受験者が、全体の4割から6割近くを占めています。

■1～4級では、言葉の意味の領域で、正答率が30%台の問題がいくつかありました。

☆問【 】の言葉を最も適切に使っているのはどの文でしょうか。番号で教えてください。

○4級より

【う浮き足立つ】

- 1 弟は初めての海外旅行がよほど楽しみなのか、今から浮き足立っている。
- 2 昨年の優勝校が初戦の相手と決まって、チームのみんなは浮き足立っている。

(答え：2—正答率 31.3%)

★「浮き足立つ」の本来の意味は、できることなら逃げ出したいと思うほど落ち着かない様子になるということなので、2の使い方が適切です。1は、「浮かれている、うきうきしている」というような意味で使っているので不適切です。

○3級より

【まんじり】

- 1 とても疲れていたのに、いつの間にかまんじりともせず寝てしまった。
- 2 試合後、キャプテンの話を見ながらまんじりともせず聞いていた。
- 3 新生活への期待と不安で、昨日はまんじりともせず夜を明かした。

(答え：3—正答率 38.0%)

★「まんじり」は、ちょっと眠る様子のこと。「まんじりもしない」など、多く打ち消しの語を伴って使われます。期待と不安で一睡もできなかったという意味を表す、3の使い方が適切です。1は、「ぐっすり」となどが当てはまる文。2は、「じっと黙って」などが当てはまる文です。

○2級より

【口当たり】

- 1 課長は口当たりはいいが、腹の中では何を考えているかわからない。
- 2 マイペースと言え口当たりがいいが、単に仕事が遅いだけではないか。
- 3 父親に口当たりして平手打ちを受けたことが何度かある。

(答え：1—正答率 36.4%)

★「口当たり」は、「口当たりがいい」の形で、話し方が穏やかで接する人に不快感を与えない様子をいいますから、1の使い方が適切です。2は、もっともらしく聞こえるという文脈なので、「聞こえはいいが」などが当てはまります。3は、「口答え」などが当てはまる文です。

○1級より

【須臾】

- 1 議長の場を弁えぬ須臾の発言に、場内は騒然となった。
- 2 須臾の情にほだされて、思わずもらい泣きをしてしまった。
- 3 空路なら、北海道から沖縄へも須臾にして行ける時代になった。

(答え：3—正答率 37.5%)

★「須臾」は、1000兆分の1を表す漢語で、「ほんの僅かの時間」の例えに用いられます。3の使い方が適切です。

正しいと思って使っているけど、実は間違った使い方をしてる言葉や表現は意外に多いものです。言葉の正しい使い方を身につけるのに、日本語検定が少しでも役立つことを願っております。

日本語検定への取り組み

中村学園女子中学校・高等学校 渡邊麗子



近年、パソコンや携帯電話の普及により、日本人は益々文字を書かなくなりました。特に若い世代は、物心ついたときからその環境にあり、メールに代表される彼らの文章は変換キーによってすばやく作成されていきます。そのため、いざ鉛筆を握って吟味しながら文章を書くとなると、書けない生徒達がとても多いことに驚かされます。

日本語の乱れや語彙力の低下が叫ばれて久しく、大学入試や就職試験では、作文や小論文、面接などにおいて、日本語の表現能力が問われるようになりました。本校に併設されている中村学園大学の推薦入試では、適性検査（英語・国語）と小論文が課されますが、その適性検査（国語）の7割前後が日本語検定でも出題される語彙の問題です。そこで、本校ではその対策にもなるということで、日本語検定が開始されて2年目の平成20年度より生徒への受検を呼びかけています。

日本語検定では、語彙だけでなく、敬語や文法、言葉の意味や表記、漢字の読み書きなどが鍛えられ、日本語の表現能力の育成に大変適していると考えられます。

試験のみならず、国際化が急速に進められている現代であるからこそ、日本人である我々は、正しい日本語を正しく表現する能力を身につける必要性があると強く感じます。

本校は、今後も日本語検定を通して、学校全体で日本語教育の充実を図って参ります。

日本語から始まる専門分野での理解

吉備国際大学 心理学部子ども発達教育学科 秀 真一郎



2007年より始まった日本語検定ですが、吉備国際大学では2008年より準会場として日本語検定に参加してきました。当初は10名ほどだった受検者も回を追うごとに増えていき、さらには各学部学科での協力体制のもと、前回（平成24年度第2回）には90名を超す受検者数となりました。

吉備国際大学には5学部12学科があり、各学科の特色を生かす教育を目指しています。やはり各分野の専門教育になりますと、講義の理解や専門書の講読、グループディスカッションによる討議などを行っていくことになります。そ

おもてなしの心を学ぶ

ANAビジネスソリューション株式会社
営業本部 人材・研修事業部 研修業務チーム 上田 紀子



ANA ビジネスソリューションは、人材派遣事業を営む旧ANA ビジネスクリエイイトと、教育研修事業会社の旧ANA ラーニングが統合して新しくスタートした会社です。研修業務においては、接遇マナー、ヒューマンエラー対策とコミュニケーションなどの教育・研修サービスを提供しています。

接遇マナー研修では、おもてなしの心を表す方法として、言葉遣いの大切さをお伝えしています。正しい敬語が話せ、美しい言葉遣いが出来ることは、人としての品を表し、ひいては会社のイメージにも直結します。

言葉は心遣いです。美しく正しい日本語に心が込められ、相手への配慮を含めた「おもいやり」の表現によって、初めて相手の心に届きます。

弊社では、今年の10月より新しくANA エアラインスクール キャビンアテンダントコースを開設いたします。学生を対象に、社会人基礎力を備え、おもてなしの素養を身につけた接遇のプロフェッショナルを養成します。文章や意図を読み解く力、相手に自分の考えを伝える力は、社会人としての基礎力に必要な要素ですので、一部のプログラムに日本語検定の要素を取り入れて語彙力や表現力も身につけていきます。

もちろん研修業に携わり講師を行う者として、常日頃より正しく美しい日本語を使い手本となるべく自己研鑽は欠かせません。

社内においても、積極的に日本語検定の受検に取り組んでおります。検定によって自己のレベルを知り、強みと弱みを把握することで、日本語力を更に磨いていくための指針としています。

ここで着目したことは、大学教育を支えているのは学生の日本語能力であるということです。日本語で読み、日本語で聞き、日本語で話し、日本語で書く。より高い学びを目指す上では、日本語能力の向上は欠かせないものということになります。さらには、資格・免許を取得することを目指す学生も多いことから、実習に出る機会も多くあります。各分野における実習は資格・免許取得だけではなく、将来につながる大切な学びの場です。そんな実習において正しい日本語を習得していることは、将来につながる大切な力ということになります。

学生自身の自主性を重んじ、学生の持つ力を最大限に引き出すためにも、日本語検定を通じて日本語能力を高めるように努めていきたいと思っています。そして、正しい日本語に出会い、学び、身につけることで広がる、それぞれの分野での活躍の後押しをしていきたいと思っています。



絵：福政 真奈美

「気が置けない仲」

遠慮したり気を遣ったりする必要がなく、心から打ち解けることができる仲だということ。一緒にいて気が休まらない仲という意味と間違えやすいので注意。

例：「あの子とは幼なじみで、気が置けない仲なんだ。」

印刷テクノロジーで、
世界を変える。

TOPPAN

凸版印刷株式会社 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 www.toppan.co.jp

ひとり、ひとりに情報のカタチを。

ひとり、一人に、「伝える」こと。

一人、ひとりに、「伝わる」こと。

明細票や宅配伝票など
誰もが利用しているビジネスフォーム。
私たちは、ビジネスフォームの
トップメーカーとして情報をデザイン
することで社会と繋がっています。

トッパン・フォームズ株式会社
本社 〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3 TEL.03-6253-6000 <http://www.toppan-f.co.jp/>

TOPPAN FORMS

Training of ANA 人とビジネスにANAの研修力



ANAが培ってきたノウハウを凝縮した研修プログラムで人材育成をお手伝いします。
※公開講座・講師派遣2形態で展開しています。

検定&
ビジネスマナー

検定とはお相手と心通じ合うように
接すること(おもてなしをする)。
言葉遣いの大切さなどをお伝えします。

ビジネス
コミュニケーション

誰もが持つ潜在的なコミュニケーション力を
引き出し楽しみながら身につく参加型研修です。

研修に関してのご質問・ご相談は、
お気軽にお問い合わせください。

ANA ANAビジネスソリューション株式会社 〒108-0074 東京都港区清輪4丁目10-18
TEL.03-5791-2910 9:00-18:00(土・日・祝・年末年始除く) <http://www.anakenshu.com/>

平成 25 年度 第 2 回 日本語検定 受検案内

- [一般会場] **11月9日(土)**
[準会場] **11月8日(金)・9日(土)**
[申込期間] **8月19日(月)～10月11日(金)**
[実施都市] 全国の100都市以上で実施予定

[受検級の目安と受検料]

受検級	受検料	社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1級	6,000円							
2級	5,000円							
3級	3,500円							
4級	2,000円							
5級	1,500円							
6級	1,500円							
7級	1,400円							

公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

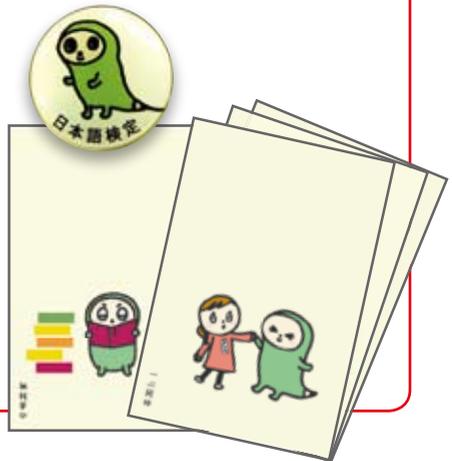
問題：「にほんご にほんご劇場」で取り上げた慣用句は何でしょうか。

○の部分を持って完成させてください。

『気が○○○○仲』

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごバッジ』と『にほんご絵はがき』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成25年11月30日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

（応募の際の個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。）



特定非営利活動法人

 **日本語検定委員会**

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

【お問い合わせ先】 **0120-55-2858**

<http://www.nihongokentei.jp>

ごけん 平成 25 年秋号 (No.14)